

生命科学実習 I Practice in Life Sciences I

基礎科目 1年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 阿刀田 英子(薬学教育研究センター)

■ 教育目的

生物体の成り立ちを実際に観察し、個体が器官系、器官、組織、細胞と階層的に構築され、さらに細胞が分子で構成されていることを理解するとともに、光合成組織を観察し、生物界へのエネルギーの導入についての理解を深めることを目的とする。

■ 学習到達目標

1. 生物が細胞によって成り立っていることを理解する。
2. 動物の身体の構造、器官、組織、細胞の構造を理解する。
3. 植物の構造、光合成組織、細胞の構造を理解する。
4. 遺伝子の本体である DNA に触れ、遺伝子の働きについて考える。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：

復習：指定の日時までに実習レポートを提出する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	人体の構成	ヒトの体の成り立ち	C8 (1) -1-1～2
2	器官と器官系	主要臓器（とくに腹腔内および胸腔内器官）の観察	C8 (1) -5-1、6-1 7-1～2,8-1、9-1 10-1 C13 (1) -4-1～2
3	//	主要臓器（とくに中枢神経系）の観察	C8 (1) -2-1 C13 (1) -4-1～2
4	組織と細胞	動物の主要器官の組織および細胞の観察	C8 (2) -1-1～3
5	//	植物細胞の形態とその内容物の観察	C8 (2) -1-1～3
6	//	光合成組織の形態の観察	C8 (2) -1-1～3
7	細胞を構成する物質と生体成分	遺伝子（DNA）の抽出	C9 (6) -1-2

■ 授業分担者

阿刀田 英子、小山 清隆、佐藤 準一、中舘 和彦、日堂 修、高取 薫、馬場 正樹

■ 成績評価方法

出席状況（60％）、およびレポートや試験成績等（40％）にもとづいて総合的に評価する。

■ 教科書

特に指定しない（必要に応じてプリントを配布）

■ 参考書

みえる人体 構造・機能・病態 The Human Body Book 佐藤達夫・松尾理監訳 南江堂